



青森産技 あおもりの未来
技術でサポート

プレスリリース

AITC Press release 2022.2.7

**稲発酵粗飼料用新品種
「あおばまる」が出願公表
～「うしゆたか」に替わる多収品種～**

農林総合研究所

地方独立行政法人 青森県産業技術センター

★組織名称の表記についてのお願い

地方独立行政法人青森県産業技術センターは県庁の組織ではありません。地方独立行政法人青森県産業技術センターの名称を省略して表記する場合は、地方独立行政法人であることが明確に分かるよう、「(地独)青森県産業技術センター」又は、当センターの略称「青森産技」をお使いくださるようお願い申し上げます。

また各研究所の表記につきましても、「県〇〇研究所」ではなく、「(地独)青森県産業技術センター〇〇研究所」、又は「青森産技〇〇研究所」と表記してくださるようお願いいたします。

稲発酵粗飼料用新品种「あおばまる」が出願公表

令和4年1月20日、青森県産業技術センター農林総合研究所が開発した稲発酵粗飼料用（WCS用）新品种「あおばまる」の出願が公表されました。（官報号外第14号に告示（農林水産省告示第百一号））

「あおばまる」は、現在本県で作付けされている稲発酵粗飼料用品種「うしゆたか」に比較して、収量（黄熟期全重）は2割程度多収で、障害型耐冷性が改良されています。

令和3年2月に県の飼料作物奨励品種に指定され、9月29日に品種登録を出願していました。

「あおばまる」という品種名は「大きく生長した青葉（茎葉）を食べて、家畜が丸々と太るように」との願いを込めて命名されました。

種子は令和4年度作付け分から農協、集荷団体等で販売されます。

1 主な品種特性

- (1) 「うしゆたか」に比べ出穂期は6日程度遅く、成熟期が9日程度遅い。
- (2) 「うしゆたか」より稈長は長く、耐倒伏性は「強」。
- (3) 黄熟期全重収量は「うしゆたか」より2割程度多収。
- (4) いもち病抵抗性は「不明」であるが、現状は県内に分布するいもち菌では発病が認められていない。
- (5) 障害型耐冷性は「極強」。
- (6) 飼料成分は「うしゆたか」とほぼ同等で、良質な稲発酵粗飼料（WCS）の生産が可能である（データ省略）。



2 育成経過

- (1) 平成19年に「べこあおば」を母、「中母59（ふ系PL4）」を父として交配し、育成開始。
- (2) 平成29年から「青系208号」の系統番号を付し、所内及び現地での栽培試験を開始。
- (3) 令和3年2月に県の飼料作物奨励品種に指定。
- (4) 令和3年9月29日品種登録出願（出願番号第35740号）、令和4年1月20日出願公表。

3 特性一覧

項目	あおばまる	うしゆたか
出穂期	8月6日	7月31日
成熟期	9月21日	9月12日
耐倒伏性	強	極強
稈長(cm)	94	88
黄熟期全重(kg/a)	159.0	125.8
同対標準比(%)	126	(100)
成熟期全重(kg/a)	209.1	170.3
同対標準比(%)	123	(100)
成熟期茎葉重(kg/a)	98.2	79.5
同対標準比(%)	124	(100)
障害型耐冷性	極強	中
いもち病抵抗性 葉いもち 穂いもち	不明 不明	やや強 不明

(注) 平成29～令和3年、農総研（黒石市、あおもり米優良品種選定試験）多肥区の結果。

取材依頼先の詳細

取材依頼先

農林総合研究所 水稲品種開発部

- 住 所 : 黒石市田中82-9
- 連絡先 : Tel 0172-52-4312
Fax 0172-40-4161
- 担当者 : 水稲品種開発部 部長 上村豊和 (うえむらとよかず)
主任研究員 落合祐介 (おちあいゆうすけ)



農林総合研究所

本部事務局



至弘前市

至弘前駅

弘南鉄道
弘南線

至新青森駅

至青森IC

至青森空港

浪岡駅

天狗平山

主要地方道大鰐・浪岡線

東北自動車道

運動公園

黒石駅

黒石消防署

黒石IC

至盛岡IC

りんご研究所

至十和田湖

黒石IC

至盛岡IC